

## 探訪 チャレンジ企業 35

### 循環型社会実現へ向けての挑戦 株式会社ピーエフエ：田鶴浜町



#### 一 炭製品のデパート —炭工房もくもく—

七尾市から田鶴浜方面へ向けて、新国道を走ると、左手に「炭工房もくもく」の看板を掲げたユニークな木造の建物に出会う。

「人にやさしい未来の地球」を理念に掲げ、それを社名にもとり入れた、建設廃材リサイクルをメイン事業とする「株式会社ピーエフエ」の木炭竹炭製品の即売店である。化学物質が氾濫して、環境や健康への悪影響が懸念されている中で、その代替や克服のための自然型商品への見直しが進んでいるが、その代表格として登場したのが「木炭」とその製造過程で発生する煙を液化させた「木酢液」である。これらの調湿、脱臭、抗菌、水質浄化などの機能や、食材の味を引き出す効用などが再確認されて、ブームと言ってもよい程の人気を呼んだ。入浴剤、園芸用品、脱臭・除湿用品、マイナスイオン効果を利用した健康用品、更には御飯を炊くときや、お茶、コーヒーを淹れるとき水につけて美味しい味を引き出す竹炭商品などが、わかりやすいPOPを添えて陳列され、店内の明るいまどと相まって、今最もトレンドイナ空間を創り出している。

#### 二 建設リサイクル 事業への進出

「(株)ピーエフエ」の前身は、昭和三十七年に設立された土木工事請負業の「(株)円山組」である。同社は、土木工事に加えて、建築工事、管工事、造園工事等を施行する能登地区きつての有力建設業者だったが、公共事業削減の嵐が吹き荒れる業界内で、従来通りの殻に閉じ込められているだけでは、会社が立ちいかなくなるとの危機感を持ち、隣接分野でもあり、また大きな成長が期待できる廃棄物の収集運搬処理に進出することにしたのである。中でもリサイクル率が最も低く、付近の山林から間伐材等の供給も見込むことができる木材のリサイクルに取り組みことにした。同社にとつては、まさに新生と言つてよい程の一大転機である。



#### 三 木材リサイクルの現場

木材リサイクルの工程は、解体業者等によって搬入された廃材を、まず「鉄道枕木など、そのままの形で再利用するもの」「切断して、薪として利用するもの」「窯を使って炭化し、燃料や建設資材、生活用品などの原材料とするもの」「大型破砕機にかけてチップ化するもの」などに仕分ける。炭化するものは、更に篩機にかけて、用途に応じて精製工程を重ねる。しかし大部分は、女性オペレータが操作する重機を使って、自走式の大形破砕機に投入され、チップの形で製品化される。リサイクル事業は今では売上の1/3を占めるまでに成長し、同社発展の大きな原動力となっている。

#### 四 循環型社会の旗手

御存知のように、わが国の環境政策は、「環の国(循環型社会)の実現」を大きな目標としている。平成十二年六月に「循環型社会形成推進基本法」が公布され、同時に、その個別法として「建設資材リサイクル法」も公布された。同法により、建設廃材は分別解体、再資源化が義務づけられた。

同社は縮みゆく建設市場を横目に見て、建設業とならば、広い意味では建設業に含めてもよい一大事業分野の開拓に成功した。更に、現在、河北郡で混合廃棄物の選別施設を計画中であり、高松



社長の圓山賢一氏

町での「もくもく姉妹店」は、既に開店している。この施設の完成を待つて、河北郡以北では、建設廃材処理体制は確立されたことになる。解体業者にとつては有力な味方の登場であり、地域住民も不法投棄等の悩みから解放される。同社社長圓山賢一氏の決断は、建設リサイクルの分野だけにどまらず、真の循環型社会実現に向けての「大きな第一歩」であると評価することができるだろう。(お問い合わせ)

#### 株式会社ピーエフエ

〒九二九-1121  
石川県田鶴浜町田鶴浜

卜部六一

TEL0767-681361  
FAX0767-681651

炭工房もくもく

〒九二九-1101

石川県鹿島郡田鶴浜町

字舟尾ク三六一

TEL0767-681378  
FAX0767-681378

http://www.nekonete.jp/nokumoku/  
e-mail:kenyama@quartz.on.ne.jp

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお訪ねください。